

CPD 実施記録記入例

プログラムNo	11111111
形態	講習会
分野	設計・監理分野 構造系
研修年月日	2018年12月1日13:00~2018年12月1日15:00
プログラム名	鋼構造技術者育成のための講習会
主催	日本鋼構造協会
内容 (200文字以内)	鋼材をとりまく国内外の市場環境と技術的動向など 構造用鋼材の利用技術と適用事例、鉄鉱石から最終製品へと変貌を遂げた鋼材（鋼管、H形鋼、棒鋼、線材製品等）の価格はどのように推移しているか、また世界の市場の中で日本製品はどのようなポジションを占めているかをグラフ等を利用してその実態の理解、構造用鋼材がどのような場で用いられているかについての説明があった。（180字程度）
修得した内容 (200文字以内)	同上
研修時間	2時間

プログラムNo	33333333
形態	専門書誌等講読
分野	設計・監理分野 構造系
研修年月日	2018年10月9日19:30~2018年10月9日21:30
プログラム名	建築技術5月号「床スラブの工法と設計上の留意点」
主催	建築技術
内容 (200文字以内)	在来工法に代わる床スラブ工法は、1970年代に開発されて以来、多様な要求に応えるため様々な床スラブ工法が開発・改良されてきた。建設現場における無支保工化や仮設材の削減、工期の短縮等建築の構築方法を大きく変えてきた。床スラブ工法のうち、比較的普及しているデッキプレート床工法、ハーフPC合成床工法及びフルPC床工法について、その概要と設計上留意点について細読した。（180字程度）
修得した内容 (200文字以内)	デッキプレート床工法はコンクリートのひび割れ（特に支持縁）に生じるひび割れ対策、ハーフPC合成床工法は構造上の弱点となる版接合部の検討、フルPC床工法は地震時面内せん断力を確実に梁に伝達することが必要なこと等、日頃感じている床スラブ工法の特有の問題点や実務における工法の選択方法、設計方法の留意点として非常に参考となった。今後は非実務に反映したい。（180字程度）
研修時間	2時間

プログラムNo	22222222
形態	委員会
分野	設計・監理分野 構造系
研修年月日	2017年12月1日16:00~2018年4月30日18:00
プログラム名	耐久設計委員会
主催	〇〇センター
内容 (200文字以内)	中性化深さや塩害による鉄筋腐食の予測についての検討を行う委員会。既存建物 の中性化の予測計算については、表面被覆材の劣化抑制効果の実測値がほとんど 無いことや表面被覆材の耐久性の評価が課題であることから、メーカー等からも 協力を得て検討を進めた。現状を踏まえ、建物の劣化状況を評価し、建物の寿命 を合理的に説明する手法を、実務レベルで使用できるように、耐久設計の指針（案） としてとりまとめた。5回出席（2h/回）。（180字程度）
修得した内容 (200文字以内)	同上
研修時間	10時間

プログラムNo	44444444
形態	建築構造に係る重要業務
分野	設計・監理分野 構造系
研修年月日	2018年4月1日13:00~2019年8月1日15:00
プログラム名	〇〇〇ビル新築工事の基本設計及び実施設計（構造設計担当）
主催	〇〇〇設計事務所 構造設計部
内容 (200文字以内)	所在地：東京都、延べ面積2500㎡、階数：地上7階地下2階、構造：鉄骨鉄筋コ ンクリート造、用途：商業施設 （50字程度）
修得した内容 (200文字以内)	建築物の竣工時期が決定しており、工期を踏まえると設計のスケジュールも非常 にタイトであった。特殊な構造の建築物であったので、実施設計の段階で施工業 者を交えた協議を定期的に行うこととし、常に施工サイドを意識しながら設計す ることができ、竣工まで感動や驚きの連続であった。協力体制の重要性を改めて 認識し、構造設計の醍醐味を十分に感じる事ができたプロジェクトであった。 （180字程度）
研修時間	1500時間